

# 2024年度入試のポイント

## 主な変更点

<b>1. 「特待生Ⅱ」の獲得チャンスを拡大</b> <ul style="list-style-type: none"><li>5つの入試区分で「特待生Ⅱ」を選出。 「推薦A方式」10名 「推薦B方式」10名 「推薦K方式（広域型）」10名 「前期A, 前期B」あわせて40名</li><li>特待生選考条件を緩和。 得点率80%以上→得点率75%以上</li></ul>	<b>2. 「推薦K方式（広域型）」は、試験地と特待生制度が最多!</b> <ul style="list-style-type: none"><li>最多の14会場で受験を実施。</li><li>3つの特待生制度にチャレンジ可能。 「特待生Ⅱ」 「特待生K」 「入試特別奨学生」</li></ul>	<b>3. 「推薦A方式」、「推薦B方式」は、1日で両入試が受験可能!</b> <ul style="list-style-type: none"><li>共通の試験問題や実技を利用した同時受験が可能。 推薦A方式の判定方法： 試験の得点 + 調査書 推薦B方式の判定方法： 試験の得点 + 調査書 + 資格・活動実績</li><li>※もちろん、いずれか一方のみの受験も可能</li></ul>
---	--	--

※推薦K方式（広域型），一般選抜前期A，前期Bは入試特待生チャレンジ制度と同時出願検定料割引制度の対象です。

## 入試特待生制度等一覧

<b>得意特化特待生</b> <small>4年間授業料</small> <b>50% 免除</b> <small>総合型選抜 事前面談型</small>
学業とともにスポーツ，文化・芸術，自然科学および社会科学の分野の活動又は資格取得等に積極的に取り組んだ方が特待生選考の対象となります。（大学全体で40名）
<b>文武両道特待生</b> <small>4年間授業料</small> <b>100% 免除</b> <small>総合型選抜 文武両道型</small>
文武両道に優れた学生や一芸に秀でた学生で，人間力，コミュニケーション能力，リーダーシップ能力の高い優秀な方が特待生選考の対象となります。（大学全体で5名）
<b>入学金減免</b> <small>入学金</small> <b>10万円免除</b> <small>学校推薦型選抜 指定校選抜</small>
学校推薦型選抜（指定校選抜）で合格した方全員が対象となります。
<b>特待生Ⅰ</b> <small>4年間授業料</small> <b>50% 免除</b> <small>一般選抜 前期A, 前期B</small>
該当の入試で，得点率85%以上の成績優秀者が対象となります。（大学全体で7名）
<b>特待生Ⅱ</b> <small>初年度授業料</small> <b>50% 免除</b> <small>学校推薦型選抜 推薦A方式, 推薦B方式</small> <small>学校推薦型選抜 推薦K方式（広域型）</small> <small>一般選抜 前期A, 前期B</small>
該当の入試で，得点率75%以上の成績優秀だった方が対象となります。 （大学全体で70名 [推薦A方式10名，推薦B方式10名，推薦K方式（広域型）10名，前期A，前期Bあわせて40名]）
<b>特待生K</b> <small>初年度授業料</small> <b>100% 免除</b> <small>学校推薦型選抜 推薦K方式（広域型）</small>
推薦K方式（広域型）で，成績上位者が対象となります。（大学全体で10名）
<b>入試特別奨学生</b> <small>4年間学費</small> <b>国立大学と同額</b> <small>学校推薦型選抜 推薦K方式（広域型）</small>
推薦K方式（広域型）で，得点率80%以上の成績優秀な方が対象となります。 （大学全体で12名 [芸術学科4名，生命科学科2名，生命医科学科2名，動物生命科学科2名，健康科学科2名]）

## 同時出願検定料割引制度

→ 49ページ

複数の入学試験を同時に出願する場合，**2出願目以降の検定料が10,000円割引**になります。

※別々に出願した場合は，同時出願検定料割引制度は適用されません。

## 受験生宿泊支援制度

→ 64ページ

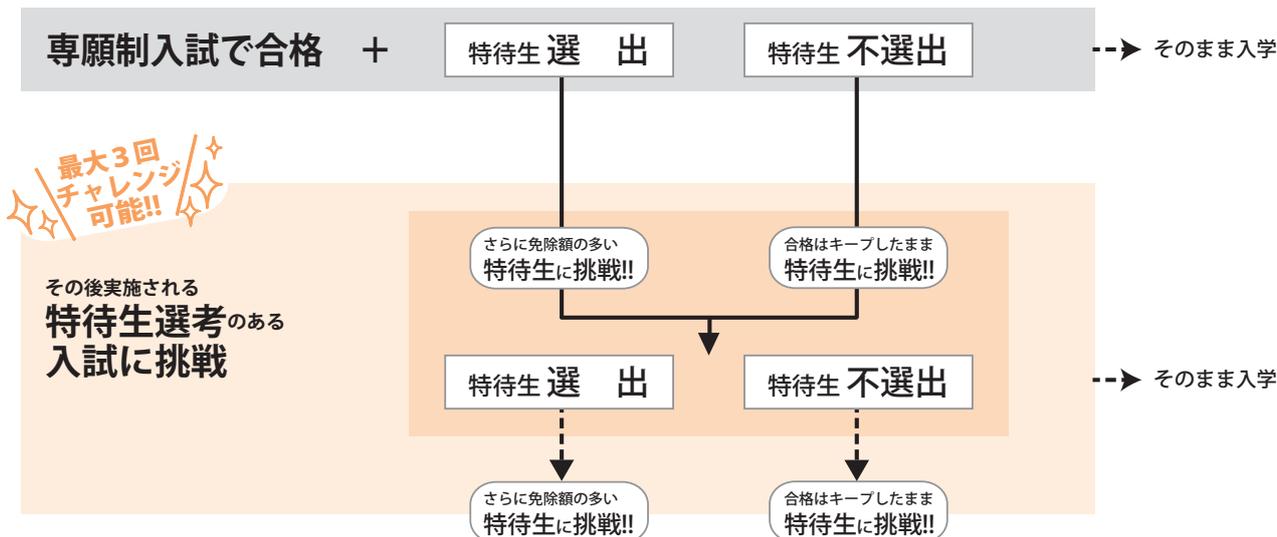
指定校選抜，推薦A方式・推薦B方式を倉敷会場で受験する方は，指定ホテルのシングル1部屋分の宿泊料が無料になります。

## 入試特待生チャレンジ制度

専願制入試で合格した方も、大きな学費減免のチャンス！「入試特待生チャレンジ制度」があります！

“合格したけれど特待生には選出されなかった” “特待生に選ばれたけれどさらに上の特待生に挑戦したい” という場合は、入学手続を完了させた後の該当の入試で特待生をめざすことができます。

### 入試特待生チャレンジ制度の流れ



### チャレンジパターンの一覧

[入試名]	[面談/選考]	[特待生制度]	[入試特待生チャレンジ制度を利用]	[特待生をめざす通常出願]
専願 総合型選抜 事前面談型 (Ⅰ期)	8月・9月	得意特化特待生	専願合格	
専願 学校推薦型選抜 指定校選抜 (Ⅰ期)	10月	入学金減免(全員)	専願合格	
学校推薦型選抜 推薦A方式, 推薦B方式	11月	特待生Ⅱ		併願合格
専願 学校推薦型選抜 指定校選抜 (Ⅱ期)	11月	入学金減免(全員)	専願合格	
専願 総合型選抜 事前面談型 (Ⅱ期)	11月・12月	得意特化特待生	専願合格	△
専願 総合型選抜 文武両道型	11月	文武両道特待生	チャレンジ可能!! ○	
学校推薦型選抜 推薦K方式 (広域型)	12月	入試特別奨学生 特待生K, 特待生Ⅱ	チャレンジ可能!! ○	併願合格
一般選抜 前期A, 前期B	1月	特待生Ⅰ, 特待生Ⅱ	チャレンジ可能!! ○	○
専願 総合型選抜 事前面談型 (Ⅲ期)	2月・3月	得意特化特待生		△

○ 受験可能 △ 専願に切り替え